

2020年6月

# 株主の皆さまへ

代表取締役社長

藤河 芳一



## 更なる成長に向けて種まきを進めてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患及び被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日本の社会、経済は大きな影響を受けました。当社においては、2月に全社対策本部を設置し、医療関連受託事業、介護・保育事業、教育事業の各事業においてご利用者さまや従業員の安全を最優先に、感染防止対策を徹底してきました。当社グループが提供する主なサービス(医療関連受託事業、介護事業、保育事業)は、利用される皆さまが安定的な生活を送る上で必要な、公共性の高いサービスであるという性質があります。「緊急事態宣言」発令後は、各行政機関からの要請・方針に沿ってサービスを提供してまいりました。今後も感染防止対策を怠らず、サービスの提供に努めていきます。

さて、2019年度は、将来の成長のための「種まき」の年と位置付けて、ICT\*活用、

M&Aやアライアンスの積極活用、採用力・定着率の向上、経営体制の強化をテーマに掲げ各施策を実行しました。

M&Aでは2020年2月に発表した、大分県の有力な介護事業者である株式会社恵の会及び有限会社恵の会の株式取得や、保育事業で初のM&Aとなる認可保育所1施設の事業譲受等を行いました。また、アライアンスでは、日本医師会ORCA管理機構株式会社との業務・資本提携や、その子会社ICI株式会社への出資、その他のICTプラットフォームを持つ複数の企業との業務提携等、「種まき」を順調に進めることができましたと考えています。2020年度も、引き続き「種まき」は行いつつ、将来の成長に向けて次のステージに進んでいきたいと考えています。

今後も企業価値の向上に取り組んでまいりますので、引き続き、株主の皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

\* ICT：情報通信技術

2020年6月25日

## 2019年度の実績 | 7年連続の増収増益を達成

売上高

**957**億円 (前年比 13.6%増)

営業利益

**54**億円 (前年比 8.7%増)

2019年度の売上高は、医療関連受託事業及び介護・保育事業がともに好調に推移し、前年比13.6%増加の95,719百万円となりました。

営業利益は、前年比8.7%増加の5,465百万円となりました。2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、デイサービスの利用控え等、介護事業を中心に影響を受けたほか、検温器等の感染対策備品の追加購入に伴うコストが発生し、グループ全体で約90百万円の減益要因が発生しました。

医療関連受託事業では新規契約の受注や、既存契約先での取引拡大、さらに生産性改善も順調に進みました。介護事業では2018年12月に買収した株式会社オールライフメイトや、2019年4月に買収したなごやかケアリンク株式会社が2019年度の売上・利益成長に貢献しました。

## 2020年度の予想 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響を見込む

売上高

**1,027**億円 (前年比 7.3%増)

営業利益

**54**億円 (前年比 0.1%増)

2020年度の業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の事業への影響が、2020年4月頃のレベルで7月頃まで継続するという仮定を置き、売上高に約600百万円、営業利益に約810百万円のマイナス影響が発生することを織り込んでいます。つまり、新型コロナウイルス感染拡大の状況や、その期間により大きく変動する可能性があります。なお、減益要因には、新型コロナウイルス感染拡大の状況下、サービス提供に従事してくれた当社グループの医療・介護・保育の現場の職員に対して支給した慰労金が含まれています。

この前提のもと、売上高は介護事業のM&Aを中心に伸長し、前年比7.3%増の102,700百万円、営業利益は前年を僅かに上回る5,470百万円を予想しています。

### 2020年度の重点戦略

1



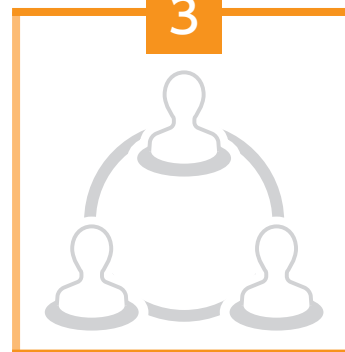
既存事業の強化

2



イノベーション

3



組織改革・人材

## 次世代モデルの構築を目指す

ソラストの主力事業である医療事務受託では、ソラストの社員21,000人が顧客である全国の医療機関それぞれの建物内で、受託した業務に従事しています。同業他社も同様であり、大量の人に依存した産業です。このような状況下、事業拡大には人の採用が不可欠ですが、今後労働力人口は確実に減少します。一方、国内の医療機関を見渡すと医療事務を医療機関の職員やアルバイトで行い、他の事業者アウトソーシングしていない医療機関、つまり潜在市場が存在しています。将来的な労働力不足が見込まれる中、市場を開拓し、成長を継続するためには新しいビジネスモデルの構築が必要だと考えています。

中長期的な成長のために、ソラストではICTを活用した次世代モデルの構築を目指しています。ICTの台頭により、様々な業界でイノベーションの速度は年々速まっており、その変化は業界内だけでなく、他業種からの参入によって引き起こされることもあります。ソラストの事業領域においても、同様の変化が起こる可能性があると考えており、自らが業界にイノベーションをもたらす「Game Changer」となるべく、取り組みを

スタートさせています。

次世代モデルにおいては、受付、会計など医療事務に関わる部分すべてにICTを導入することを目指しています。医療事務を効率化することで、今まで以上に少ない人数で仕事を行うことができるほか、受付の待ち時間の短縮、キャッシュレス決済など、医療機関にとっての付加価値向上や医療機関を訪れる患者さまの満足度向上を目指します。

## ICT基盤を持つ企業とのアライアンス


「Game Changer」を実現する具体的な手段として、ICT基盤を保有する企業とのアライアンスを積極的に進めています。直近では、提携する病院の予約、受付、キャッシュレス会計、処方箋情報FAX送信等の機能を持つスマホアプリ「MyHospital」を開発する株式会社プラスメディとの業務・資本提携や、医療機関向けに、電子カルテシステムや医事会計システムをはじめ総合医療情報システムの開発・販売及び保守サポートを行うソフトマックス株式会社との業務提携を発表しました。


## 次世代モデルへの転換




## ソラストNEWS

各タイトルをクリックすると、詳細ページに移動します。

 介護事業に関するトピックス

 保育事業に関するトピックス

 ICTに関するトピックス

## 2020年

ICT

2月28日 (株)プラスメディと業務・資本提携を発表 [🔗](#)

医療・介護領域のICT活用に関連した事業・サービスを強化するため、ヘルスケアアプリ事業を営む(株)プラスメディとの業務・資本提携を発表しました。



3月19日 (株)恵の会と(有)恵の会がソラストグループに仲間入り [🔗](#)



4月1日 保育事業で初のM&Aを実施。「ソラスト高津」が仲間入り [🔗](#)

ICT

4月1日 ソフトマックス(株)との包括的な業務提携契約締結を発表 [🔗](#)

医療領域のICT活用に関連した事業・サービスを強化するため、電子カルテシステムや医事会計システムをはじめ総合医療情報システムの開発・販売及び保守サポートを行うソフトマックス(株)との業務提携契約を発表しました。

### その他の情報 ※以下の情報については、当社ホームページ内に最新の情報を公開していますので、各項目をクリックしていただき、ご確認ください。



業績・財務ハイライト



コーポレート・ガバナンス



株式の状況



役員情報



企業理念、経営ビジョン



会社情報

